

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。

幼児教育センター

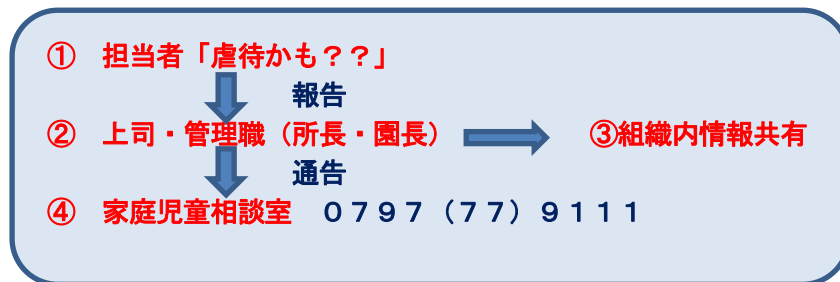
TAKARA 宝っこだより 20

平成 31 年 (2019 年) 2 月

暦では、2月4日は立春です。春はもうそこ!待遠しいです。そんな春の声を聞きながら巷では、また痛ましい虐待事件が起きました。小学校4年生、10歳の悲痛な声は、結局誰にも届くことなく、救えたはずの命が一つ奪われてしまいました。虐待が発覚しないように女兒の痣は服によって隠れる腹部部分に集中していたそうです。その時の暴行は、なんと13時間に渡って続いていたとも報道されていました。

「TAKARA 宝っこだより15」にも記載しましたが、**全ての子どもは、「児童の権利に関する条約」の精神に則り、適切な養育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られるなど保障される権利があります。つまり「子どもの人権尊重」なのです。**

【虐待が疑われる時の対応】



子育てのネットワークづくり

子どもたちの健やかな成長を促すためには、保護者が安定した気持ちで前向きに子育てに向き合い、成長の喜びを感じられるように支えていくことが大切です。

幼稚園や保育所(園)では、子育ての情報を提供したり、保護者同士で子育て等の悩みを交流できる場を設けたりすること、時には心理や保健関係の専門機関やまた、地域の子育て経験者等と連携・協働しながら保護者となつなぐ多様な役割が求められています。

時代や社会の変化から保護者の価値観や生活スタイル、働き方など多様化し、様々な分野でダイバーシティ(多様性)が尊重・重視されるようになってきました。合わせて、情報社会により、良くも悪くも様々な情報が保護者の子育てを惑わすことも多々あります。「**子育ては伝承文化**」と言われていた時代が懐かしくさえ思われます。核家族化が進む中、伝承していく人が側にいないのが常になっている状況です。だからこそ、就学前の大事な時に子どもに携わる私たちの役割りは重要なのだと痛感します。

もうすぐやってくる **11日**にはぜひぜひ、ほめほめシャワーをお願いします!
宝塚市教育委員会 幼児教育センター TEL: 0797-77-2132

